

2024年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修 募集要綱

昨今、発達障害関連の研修が増え、強度行動障害支援の体制整備も新たな段階に入り、特性理解に基づく適切な支援の重要性等の認識は広がってきています。ただ、研修で学んだものを実際の支援に取り込むことは非常に難しく、いわゆる中核的支援人材といった支援のアセスメントやアドバイス、チームマネジメントができる人材が不可欠であるという認識も広く共有されてきています。広域的支援人材と言われるような存在には、施設運営全体や地域の多機関多職種を繋ぎ機能させていくマネジメントの力、支援者から育成者までを育成する力といったスーパーバイザーとしての能力や技能が求められ、本研修が育成を目指すような人材がさらに重視されるものと思われます。

本研修では、支援者向けのベーシックコースは座学のみのコースの他に、座学に協会加盟施設での実習を加えたコースを設定し、生活や作業の場で発達障害児者に直接関わる機会の少ない方等に向け、現場での支援とスーパーバイジョンの体験を提供しています。スーパーバイジョンやコンサルテーションに特化したアドバンスコースは、講義と事例検討の演習を実施し、発達障害支援におけるチームマネジメントや支援者の育成に必要な基礎的な知識や技能を提供しています。さらに、アドバンスコース修了後に学びを継続していただけるように、協会のブロック研修会等に参加できる機会を用意しています。

本協会では、発達障害支援に早くから取り組んできた加盟施設が多く、実践から得たノウハウや人材を活かし、スーパーバイザー養成のニーズに応えるべく本研修を実施してきました。その中で、支援にしろ、人材育成にしろ、一朝一夕に実践力が向上することは望めず、研修の継続が必須であることも確認してきました。特に発達障害支援の領域でのマネジメントや育成の研修はまだ未開発な部分も多く、本研修を入り口とし、共に学び合い、助け合い、育ち合っていただけることを期待しています。

【目的】

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害児者への理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。その要因として、単なる知識を超えた実践的な理解をもたらす教育や研修の不足、それを可能にする適切なスーパーバイジョンの不足が挙げられています。本研修では、発達障害児・者への直接支援に携わる方だけでなく、相談、医療、保健、教育、労働の各分野等広く、発達鍾愛支援の基礎を学びたい方に向け、第一人者による講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修を実施します。また、一定程度の実務経験を有する方を対象に、講義と事例検討会等を実施し、さらに協会内で研修を継続し、施設や地域で中核となる支援者を支え、育て、学び合い、スーパーバイザーを養成することを目指しています。

【主催】

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

【後援団体】

厚生労働省、こども家庭庁、文部科学省、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本知的障害者福祉協会（依頼中）

【概要】

- ・ベーシックコース(支援者向け)
Aコース(座学のみ):期間;8月1日～31日(オンライン)/定員;50名
Bコース(座学+実務研修):期間;座学;同上 実務研修(実地);9月～/定員:10名
- ・アドバンスコース(育成者向け) 座学+演習
期間:座学;8月1日～31日(オンライン) 演習(オンライン):9月14日、報告会:12月14日/定員;30名
- ・アドバンス(育成者)コース修了後、協会ブロック研修会に無料で参加可能(1年間)
- ・スーパーバイザーとして一定の実践力を備えた方をマスターとして認定

【受講費用】

- ・ベーシックコース : Aコース ; 10,000円 Bコース ; 30,000円
- ・アドバンスコース : 20,000円

【申込み方法】

各コースとも、添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付可能です。)申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

※ ベーシック B コース(座学+実務研修)、アドバンスコースは、申込時に、所属機関、団体等の推薦状をいただきます。

【申込み締め切り】

2024年7月20日(土) ※全コース共通

【その他】

平成30年度以前から発達障害支援スーパーバイザー養成研修を受講されている方も、問い合わせは以下でお受けします。

【問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人全日本自閉症支援者協会

発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

特定事務局 石井 啓 菅原良武 北川 裕

〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

2024年度
発達障害支援スーパーバイザー養成研修
ベーシックコース
募集要項

【対象】

- ・知的・発達障害支援施設、学校・医療機関等で支援に携わっている方
- ・発達障害児者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携わっている方
- ・強度行動障害支援者養成研修等で得た知識や考え方を深めたい方
- ・発達障害児者への支援をきちんと整理して学び、積み重ねるべき実践内容を明確にしたい方
- ・相談支援等の支援者で、発達障害児者に生活や活動の場面で直接接する機会を求めている方

【研修形式】

Aコース：座学(eラーニング) Bコース：座学(eラーニング) + 実務研修

【内容】

◇ 座学

自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者への支援の基本的な知識・理念・技術

※ インターネットオンラインでのeラーニング形式で実施します。

座学(eラーニング)カリキュラム

	内 容	講 師	時間
A	『発達障害支援の基礎①』～医療とアセスメント～	日本自閉症協会 市川 宏伸	90分
	『発達障害支援の基礎②』～受容的交流～	全日本自閉症支援者協会 石井 啓	60分
	『発達障害支援の基礎③』～応用行動分析～	鳥取大学 井上 雅彦	90分
	『発達障害支援の基礎④』～TEACCH～	川崎医療福祉大学 諏訪 利明	90分
B	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①』 当事者の立場から	NPO法人DDAC 広野 ゆい	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義②』 家族の立場から	日本自閉症協会 今井 忠	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義③』 施設支援の立場から	全日本自閉症支援者協会 松上 利男	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義④』 発達障害者支援センターの立場から	全日本自閉症支援者協会 五十嵐 猛	60分

◇ 実務研修（4～5日）

- ・協会加盟施設の支援の現場での実習を主体としたカリキュラム
- ・自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者へのアセスメント・支援の計画立案－支援の実施－再アセスメント－修正のPDCAの体験と学び
- ・チーム支援、スーパービジョン、地域での連携等の体験と学び
- ※ 原則、近都道府県の協会加盟施設とし、事務局で調整決定させていただきます。
- ※ 4～5日連続での終日受講となります。遠方の場合、宿泊が必要になりますので、ご自身で手配をお願いします。（受入施設に宿泊可能な場合もあります。）
- ※ 実務研修は、感染症その他の状況、受入施設の事情により、延期等の変更が生じる場合があります。
- ※ 原則、受講者の在勤地の近いブロック（北海道・東北、関東、北信越、東海、近畿、中国・四国・九州）内の施設とし、事務局と相談の上決めさせていただきます。（申込時にお問い合わせください）

実務研修カリキュラム（例）

月曜日				13:00～ 受付	14:00～ ○オリエンテーション 施設概要説明・見学 17:00 ○実務研修説明・研修計画確認	
火曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 活動支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○臨床実習 作業支援	17:00～ 振り返り
水曜日	9:00～ ○オリエンテーション	9:30～ ○臨床実習 作業支援	12:00～ 食事支援	13:00 休憩	14:00～ ○アセスメント・支援計画策定研修 支援会議 模擬アセスメント・立案	17:00～ 振り返り
木曜日	7:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活支援		11:00～ 休憩	13:00～ ○臨床実習 余暇支援	15:00～ ○スーパービジョン研修 支援会議 事例検討	懇親会等
金曜日	9:00～ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活・活動支援		12:00～ 生活支援	13:30 まとめ 考課 終了	15:00	

【受講時期・期間】

Aコース 座学：2024年8月1日（木）～8月31日（土）

Bコース 座学：2024年8月1日（木）～8月31日（土） 実務研修：2024年9月～

※ 実施スケジュール、実施施設は研修事務局にお問い合わせください。

※ B（講義＋実務研修）の受講には、推薦状が必要になります。

※ 実務研修受講には、研修計画書・報告書（考課票）の作成・提出があります。

※ 実務研修のみの研修は実施しておりません。

※ 2020～2022年度受講開始された方も希望に応じて実施します。

【募集人数・募集期限等】

定員：Aコース（座学のみ）；50名 Bコース（座学+実務研修）；10名

募集期限：2024年7月20日（土） ※ABとも、定員になり次第締め切ります。

【受講費用】

A コース（座学のみ）：10,000円

B コース（座学+実務研修）：30,000円

※ 実務研修については、別途交通費・食費・宿泊代等の実費がかかりますので、予めご了承ください。

※ 受講取り止め時の返金に関して

- ・座学に関しては、入金からアカウント送付の間は、振込手数を差し引いて返金いたします。
- ・実務研修に関して、受入施設での準備費用と振込手数料を減じて返金します。受講者都合での取りやめの場合、交通費・宿泊代等の弁済は致しかねます。

【申込み方法】

添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。（郵送、ファックスでも受付ます。）

※ Bコース（座学+実務研修）受講希望の方は、申込時に、所属機関、団体等の推薦状をいただきます。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

※ 修了書をお求めの方は、報告書の作成・提出をお願いします。申込時にご選択ください、

【申込みから修了までの流れ】

<Aコース（座学のみ）>

- ① 受講申込（申込書の提出）
- ② 申込書の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了（通知）
- ④ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付 視聴状態の確認
- ⑤ 配信・受講・修了（期間内であればどの講義も何度でも視聴できます）

※ 受講修了書をお求めの方は、研修報告書を事務局にご提出ください。受理後、発送します。

<Bコース（座学+実務研修）>

- ① 受講申込（申込書・研修計画書）
- ② ・推薦状の発送）
- ③ 提出書類の内容確認後、受講料の振込案内
- ④ 受講料振込確認で受付完了（通知）
- ⑤ 実務研修受入施設担当者への引継ぎ（以降、担当者よりガイダンス・オリエンテーション）
- ⑥ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付 視聴状態の確認
- ⑦ 講義配信・受講・修了（期間内であればどの講義も何度でも視聴できます）
- ⑧ 座学報告書を事務局に提出（受入施設との共有）
- ⑨ 実務研修実施
- ⑩ 実務研修考課票を事務局に提出、受講修了

※ 受講修了書をお求めの方には、考課票受理後、発送します。

【オンライン研修受講推奨環境】

○ パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)

解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

○ モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ:Google Chrome

Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ:Google Chrome

※ いずれのコースも音声付きです。学習する際には イヤホンやスピーカーなどをご用意ください。

※ アドバンスコースの演習は、記録の仕方も学べますので、PC での受講をお勧めします。

※ なるべく明るいところで学習しましょう。

【問い合わせ・申し込み先】

一般社団法人全日本自閉症支援者協会

発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

特定事務局 石井 啓 菅原 良武 北川 裕

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

2024年度
発達障害支援スーパーバイザー養成研修
アドバンスコース
募集要項

【対象】

- ・発達障害支援の実践経験はある程度積み重ね、チーム運営やメンバーの指導教育、育成を行っている方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において難しさを感じ、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等の技能を学び、所属施設や地域の中核的な支援指導者を目指している方

※ 2018年度までの旧体系(日本財団協賛)のベーシックコース未修了の方も受講できます。

※ 2019~2022年度までにアドバンスコースを受講された方は、追加された講義を無料で受講できます。

PCAGIPによる事例検討会にもご参加いただけます。お問い合わせください。

※ 2018年度にアドバンスコースを修了された方で、PCAGIPによる事例検討会に参加を希望される方は、PCAGIP事例検討会の進め方のデモンストレーション等、現行のアドバンスコースの講義を受講されることをお勧めします。(お問い合わせください。)

【研修形式】

座学+演習 ※レポートがあります。

【内容】

◇ 座学

スーパービジョンやコンサルテーションを行う上での基礎的な知識や技能

※ 座学はオンラインオンデマンドの e ラーニング形式で実施します。(YouTube)

※ 受講申し込み者以外の方、複数での視聴は厳禁でお願いします。

座学(e ラーニング)カリキュラム

	研修内容	講 師	時間
講義	『スーパービジョン・コンサルテーションの基礎』	社会福祉法人はるにれの里 加藤 潔	90分
	『スーパービジョン・コンサルテーションの基礎技術』 ～PCAGIPによる事例検討の進め方～	大正大学 玉井 邦夫	90分
	『支援者支援の重要性』(新規)	日本社会事業大学 藤岡 孝志	90分

受講期間

2024年8月1日(木)~8月31日(土) ※期間内であれば、何度でも繰り返し視聴可能です。

会場

視聴環境が整えば、職場でも自宅でもどこでも構いません。

◇ 演習：PCAGIPによる事例検討会（ハイブリッド）

- ・スーパービジョンやコンサルテーションの基礎技能であるファシリテーション等の体験学習
- ・対面での演習とZoomでのオンライン演習を選択
- ・8名程度のグループで実施
- ・1セッション90分程度

※ 各自検討したい事例の概要（悩み事、ジェノグラム・エコマップ）を別途事前に提出していただきます。

※ 全日本自閉症支援者協会関東ブロック研修会と合同で実施します。

※ 初回は必ず座学も受講ください。

※ 既にアドバンスコースを修了されている方は演習のみの参加もできます。

実施日

2024年9月14日（土）9:00～13:00

※12月14日（土）9:00～13:00に協会関東ブロックで、取り上げた事例への支援の経過報告会+αの研修会（オンライン）を行います。報告会部分は原則参加でお願いします。

会場

オンラインで実施します。

【募集人数・募集期限等】

定員：30名

募集期限：2024年7月20日（土）※定員になり次第締め切ります。

【受講費用】

20,000円（座学+演習）

【申込み方法】

添付の申込書に必要事項を記入し、推薦状を添えて、メール添付にて事務局にご送付ください。（郵送、ファックスでも受け付けます。）

※ 申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※ 連絡は、原則、メールでお願いします。

※ 受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナは必ずローマ字表記でご記入ください。

【申込みから修了までの流れ】

- ① 受講申込（申込書・推薦状の提出）
- ② 申込書等の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了（通知）
- ④ 事務局よりYouTube URL の配布
- ⑤ 配信・受講（期間内であればどの講義も何度でも視聴できます）
- ⑥ 演習の案内 演習実施日直前・Zoom URL の配布等
- ⑦ 演習実施 会場 or オンライン
- ⑧ 研修報告書作成・提出、修了、ブロック活動への参加案内

※ 受講修了書をお求めの方には、考課票受理後、発送します。

⑨ 修了後

- ・1年間、事務局から協会ブロック研修会のご案内を差し上げます。研修継続ができます。(参加は任意です。)
- ・1年後以降、協会に加盟することで、ブロック活動他協会の活動に参加できます。
- ・ブロック活動の中で、支援力・運営力・指導力を認められれば、マスター推薦を得られます。

【オンライン研修受講推奨環境】

○ パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)
解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

○ モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ:Google Chrome
Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ:Google Chrome

※ 演習は応答があります。外部の音が混じらないよう、個室やヘッドセット等のご用意をお願いします。また、記録の仕方も学べますので、PC での受講をお勧めします。

※ なるべく明るいところで学習しましょう。

【マスター認定について】

【対象】

- ・支援・人材育成・組織運営等の実践力が優れている方
- ・本研修アドバンスコース修了後、協会ブロック研修会への参加、育成者としての技能の発揮、ブロック活動での研修企画運営等で活躍した方

【認定の流れ】

ブロック活動内での活躍により、先任のマスターから推薦し、SV 研修運営委員(協会常任理事)による選考・認定します。

受講申込書（ベーシックコース）

フリガナ（ローマ字）*1	希望コース*2		A(座学のみ) B(座学+実務研修)
名前*3	男・女	() 歳	
所属	法人・団体等: 施設・学校等:		
職種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資格			
連絡先*4	<input type="checkbox"/> 職場	<input type="checkbox"/> 自宅	
	〒	〒	
	TEL:	TEL:	
	FAX:	FAX:	
E-mail:	E-mail:		
職歴等			
受講理由	【発達障害支援の基礎知識の習得・向上】具体的に:		
	【発達障害支援の技能の習得・向上】具体的に:		
	【その他】具体的に:		
修了書*5	希望する・希望しない（希望される方は、報告書の作成・提出が必要です。）		
備考			

*Aコース(座学のみ)受講を希望される方は、*1, *2, *3, *4, *5 以外の記入は任意です。

*1:eラーニングの受信アカウント発行に必要です。必ずローマ字表記で記入してください。

*2:Bコース(座学+実務研修)受講を希望される方は、推薦状(別紙)をご提出ください。

*4:主な連絡先をしてご記入ください。連絡方法は原則メールでお願いします。職場を希望される方は、所属もご記入ください。

受講申込書（アドバンスコース）

フリガナ(ローマ字)			
名 前		男・女	() 歳
所 属	法人・団体等: 施設・学校等:		
職 種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他()		
資 格			
連絡先 *1	<input type="checkbox"/> 職 場	<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒	〒	
	TEL:	TEL:	
	FAX: E-mail:	FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由 *4	【スーパービジョンの基礎知識の習得・向上】具体的に:		
	【スーパービジョンの技能の習得・向上】具体的に:		
	【発達障害支援の知識・技能の向上(スーパービジョンのために必要なもの等)】具体的に:		
	【その他】 具体的に:		
備 考			

*1:主な連絡先を☑してください。連絡方法は原則メールでお願いします。

受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機関名

所在地

電話番号

代表者氏名

印

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修ベーシックコース・実務研修の受講を推薦します。

氏名	(生年月日: 年 月 日)
所属・役職等	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推薦理由	

受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機関名

所在地

電話番号

代表者氏名

印

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修アドバンスコースの受講を推薦します。

氏名	(生年月日： 年 月 日)
所属・役職等	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推薦理由	

SV研修・ベーシックコース（eラーニング）報告書1

氏名		
所属		
発達障害支援の基礎①～④の講義について、印象に残ったワードをあげて、「発達障害支援に必要なこと」として理解したことを簡潔にお書きください。		
①「医療とアセスメント」	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
②「受容的交流」	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
③「応用行動分析」	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
④「TEACCH」	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
上記の講義理解を踏まえて、優れた発達障害支援者になるために、「今後研修すべきと思うこと」について、具体的にお書きください。		
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		

SV研修・ベーシックコース（eラーニング）報告書2

氏名		
所属		
発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①～④の講義で、印象に残ったワードをあげて、「発達障害支援スーパーバイザーとして求められること」として理解したことを簡潔にお書きください。		
① 当事者の立場から	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
② 家族の立場から	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
③ 施設支援の立場から	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
④ 発達障害者支援センターの立場から	印象に残ったワード【	】
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
上記の講義理解を踏まえて、優れたスーパーバイザーになるために、「今後研修すべきと思うこと」について、具体的にお書きください。		
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		

研修計画書(ベーシックBコース)

ふりがな		男	生年月日
名前		・ 女	昭和 年 月 日 平成 ()歳
所属	法人・団体等: 施設・学校等: 部署・グループ等:		
職種	発達支援・生活支援・就労支援・相談支援・教育・その他 ()		
受講目的 (コース全体)			
	【発達障害支援について】 具体的に:		
実務研修での 研修目標・課題	【その他】 具体的に:		

※ 申込み時に記入し、「実務研修での研修目標・課題」は、実務研修開始時に研修実施施設の担当者との間で確認、

検討してください。

※ 受講目的(コース全体)は、ベーシックコース(座学・実無研修)を通じての目的をご記入ください。

実務研修考課票(ベーシックBコース)

ふりがな		受講番号	実務研修受講回数
名前			回目
研修実施施設		受入担当者	
実習期間	年 月 日	～	年 月 日
研修考課	【発達障害の特性理解について】		
	<input type="radio"/> 習得できた点		
	<input type="radio"/> 今後の研修課題		
【アセスメントについて (状態、背景、課題目標、支援方法 / 個々の行動の意図や理由他)】			
<input type="radio"/> 習得できた点			
<input type="radio"/> 今後の研修課題			
【支援について (環境調整、コミュニケーション、対人関係、発達支援、自立・自律支援、社会化に向けた支援等)】			
<input type="radio"/> 習得できた点			
<input type="radio"/> 今後の研修課題			
【その他 (チーム運営 記録類、スーパービジョン等)】			
<input type="radio"/> 習得できた点			
<input type="radio"/> 今後の研修課題			
今後の 研修計画			
受入担当者 コメント			

※ この研修考課票は、受講者ご自身の今後の研修のためのものです。体験の振り返り、整理のためにお役立てください。

※ 「受入担当者コメント」は、受講者が心に残った実務研修受け入れ担当者の言葉、お話を記入してください。

SV研修・アドバンスコース報告書1 (座学)

SV研修・アドバンスコース報告書2 演習（9月事例検討）用

※この報告書は、12月の経過報告会も含めて、作成、ご提出いただいても構いません。